

成田祇園祭



梅雨明け間近の空の下、成田祇園祭が始まった。今までで一番遅い七月十、十一、十二日の開催。例年御輿のほかに十台の山車・屋台が勇壮な曳き廻しを見せているが、今年、囲護台・新町・馬橋三区の山車が参加せず九台での曳き廻しとなった。最

回祭りはオトコもオンナも粋でイナセに変えるが、小さな娘も華やかに…
 ④山車の花形はやっぱり網元
 ⑤代紋を頭に。若者頭目指して頑張れ!
 ⑥山車がそろったら“踊り合わせ”だぞ!
 ⑦本堂前の“総踊り”各町それぞれの踊りにシャッターチャンス!
 ⑧のどの湯きには昔も今もコレ!
 ⑨一番の見せ所“総引き”前に乾杯

勇壮! 熱気! 灼爛!



終日の各町による「総踊り」が行われず、昼過ぎの「総引き」が夕方に変わったが、それでも三日間で四十二万人の祭り好きの人たちが訪れた。成田祇園祭を合図に、市内各地でさまざまな夏祭りが始まる…。

観衆の声援を背に、仲之町の大坂を一気に駆け上がり!「総踊り」で二日目は朝から祭り気分最高潮!狭い成田の道をすれ違うのは、梶棒を握る奴の腕の見せ所。屋台の踊り手は手古舞と交替で